

創立50周年記念  
(since 1974)

あゆみ



上尾市テニス協会

創立50周年記念  
(since 1974)

あゆみ



上尾市テニス協会

## 上尾市スポーツ健康都市宣言 (令和4年4月1日宣言)

都市と美しい自然とが調和するこのまちで、健康的にいきいきと暮らすことは、私たちの願いです。

私たち上尾市民は、スポーツや食を通じて健やかな心とからだをつくり、地域や人との絆を大切にします。

いつまでも健康で活気に満ちた、みんなが輝き発展しつづけるまちを築くため、これまでのスポーツ都市宣言の理念を踏襲し、ここに「スポーツ健康都市」を宣言します。

- 一 暮らしの中にスポーツを取り入れ、健康な心とからだをつくりましょう。
- 一 自分に合ったスポーツに親しみ、毎日をいきいきと過ごしましょう。
- 一 スポーツとバランスのとれた食生活を実践し、健康寿命を延ばしましょう。
- 一 スポーツをすること、みること、ささえることでふれあいの輪を広げ、地域の絆を深めましょう。
- 一 スポーツや健康づくりを通じて、みんなが輝き発展しつづけるまちをつくりましょう。

## ■ 目 次

---

上尾市テニス協会は50周年を 迎えました	上尾市テニス協会会長	丸 行弘	4
創立50周年を祝して	上尾市長	畠山 稔	5
創立五十周年を祝して	上尾市議会議長	田中 一崇	6
創立50周年を祝して	上尾市教育委員会 教育長	西倉 剛	7
祝 辞	埼玉県テニス協会 会長	上羅 廣	8
創立50周年を祝して	上尾市スポーツ協会 会長	遠山 正博	9
上尾市テニス協会50年のあゆみ			10
上尾市テニス協会登録団体紹介			15
上尾市テニス協会規約			31
上尾市テニス協会役員（2024年度）			34

## あいさつ

## 上尾市テニス協会は50周年を迎えました

上尾市テニス協会  
会長 丸 行 弘

テニス協会は、1974年に清水康彦氏、前島暁氏、浅井忠之氏、3名が上尾市保健体育課に相談し、会員を募集して146名の希望者を集めて創設してから、50年を迎えることが出来ました。これもひとえに、テニスを愛する人たちが心の底からテニスを楽しみたいと願う気持ちの表れだと思っています。

第1回の市民大会から競技種目は徐々に増えていき、今年で、ミックス大会第48回、クラブ対抗戦第41回、新進大会28回、シニア大会22回、年齢別シングルス大会18回、シニアミック大会14回と多岐にわたる大会を開催することができるようになりました。市民大会においては、今秋に100回を迎える大会となり、50周年記念大会として計画をしています。

各種ある大会の中で一番人気なのが、クラブ対抗戦です。チームごとに人が集まってテニスができるとあって、年々参加チーム数が増えてきました。数年前まで、男子1部、2部、女子1部、2部で行っていましたが、今年度は男子、女子ともに、1部、2部、3部体制となり、メンバーの期待がいかにか大きいのか、窺い知れる大会となっています。

上尾市の市民大会以外でも、南部協議会の主催する南部大会を上尾市の上平公園テニスコートを使用して行っており、大会運営はテニス協会が行っています。

その他にも、県主催の都市対抗テニス大会、県都市対抗テニス大会南部地区予選会等にも積極的に参加しています。

今年度、テニス協会に登録されたクラブは63クラブ、登録メンバーは1,857名で、上尾市テニス協会主催の大会参加者は、年間で約2,800人にも上ります。

登録メンバーの最年少は9歳、最年長は92歳と幅広い年代にまたがっています。テニスは、年齢を重ねても楽しく続けられるスポーツとして根付いているように思います。

今後も皆さんの助言、協力をいただきながら益々発展していけるよう頑張っていく所存でございます。今後ともよろしく願いいたします。

## あいさつ

## 創立50周年を祝して

上尾市長 畠山 稔

上尾市テニス協会が創立50周年を迎えられ、ここに記念誌を発行されますこと、心からお祝い申し上げます。貴協会は、昭和49年の設立以来、長きにわたりテニス活動を通じて、市民がスポーツに触れ合う機会の創出に努めてこられました。この記念すべき節目の年を迎えられましたのも、丸行弘会長をはじめ、歴代役員の皆様のたゆまぬ御努力の賜物であると心から敬意を表します。

また、この間、数多くのテニス大会を通じて、個人の技術力の向上を図るとともに、スポーツの楽しさを伝え、市民の健全な心身を養うなど、本市のスポーツ振興にも多大な貢献をされてきましたことに改めて深く感謝を申し上げます。

上尾市では令和4年4月、これまでの「上尾市スポーツ都市宣言」の理念に、健康の要素を取り入れた「上尾市スポーツ健康都市宣言」を行いました。これはスポーツを「する」ことだけでなく、スポーツ観戦や応援をする「みる」ことや、指導者やボランティアとしてスポーツを「ささえる」ことも含めた、ふれあいの輪を広げ、スポーツを通じて健やかな心と体をつくり、地域の絆を深めるものとしたものです。宣言では、食生活などの健康管理にも重きを置いており、市民の皆様が生涯にわたり主体的に健康づくりに取り組むことができるよう、様々なスポーツや健康に関する事業を実施しているところでございます。

このような取り組みを行っていく中で、競技スポーツのみならず交流の場としても幅広い年代で楽しむことができるテニスの存在は大変大きなものであり、今後の活動にも大きな期待を寄せているところでございます。貴協会の皆様におかれましても、テニスを通じて心と体の健康づくりを進め、地域の絆を強いものにしていただきますようお願い申し上げます。

結びに、これまでの市内テニスの普及、振興活動の中で培われた経験と知識を生かし、上尾市テニス協会の更なる発展と会員の皆様方の益々の活躍を心から御祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

## あいさつ

## 創立五十周年を祝して

上尾市議会  
議長 田中 一 崇

この度、上尾市テニス協会が、創立五十周年を迎えられ、ここに記念誌が発刊されますことに対し、市議会を代表いたしまして、こころからお祝いを申し上げます。

貴協会におかれましては、昭和四十九年の発足以来、五十年の長きにわたり、大会や講習会の開催などを通じて、本市のテニスの幅広い振興にご尽力いただきました。

これもひとえに、歴代の会長をはじめ役員の皆様のためご努力の賜物と深甚なる敬意を表する次第でございます。

さて、近年、テニスにおける日本選手の活躍は輝かしいものがあります。これまでテニスに触れることがなかった多くの人々が関心を高めているものと存じます。

また、テニスは子どもから高齢者まで幅広い世代の人々に親しまれており、生涯にわたり取り組むことで、人と人との交流が深まり健康で心豊かな生活を送ることができるものと存じます。

このような中、貴協会の日ごろの活動は、テニスを親しむ人々を支えることで、市民の心身の健康づくりやコミュニティづくりに貢献しているものでございます。

今後とも、本市におけるテニスの普及や発展にご尽力賜りますとともに、スポーツ健康都市宣言で目指す、スポーツや健康づくりを通じ、いつまでも健康で活力に満ちた、みんなが輝き続けるまちづくりに、より一層のお力添えをいただきますよう、お願い申し上げます。

結びに、上尾市テニス協会の益々のご発展と、皆様のご活躍を心から祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

## あいさつ

## 創立50周年を祝して

上尾市教育委員会  
教育長 西倉 剛

このたび、上尾市テニス協会が創立50周年を迎えられ、記念誌を発行されますことを心よりお慶び申し上げます。昭和40年代にブームが起こった硬式テニスを上尾でも楽しみたいと、多くのテニス愛好家の御尽力によりテニス協会が設立されて以来、半世紀にわたって貴重な年輪を刻んでこられました。

記念すべき第1回上尾市民硬式庭球大会は、昭和49年11月4日プリンス公園で開催されたと記録が残っております。昭和53年度の県民体育大会では、女子シングル、ミックスダブルスで優勝、多くのプレーヤーが上位に進出、また、昭和62年の第1回埼玉県代表選考会では、上尾市は県南地区代表の一角として、県南に上尾ありと高く評価されておりました。

市テニス協会の会員の皆様におかれましては、このような地域の人々がテニスを通じて関わり合う活動に意欲的に取り組み、市民がテニスをはじめとするスポーツに親しむ土壌を培われてきました。老若男女を問わずテニスの魅力を伝え、定期的に行われる各種大会では、一人ひとりがスポーツに親しみ、人々の交流を手助けするなど、その功績は誠に多大であると考えております。

本市教育委員会でも、令和3年度から令和7年度までの5年間を計画期間とした『第2期上尾市スポーツ推進計画』を定め、「健康で活力に満ちたスポーツ活動の推進」を基本理念に掲げ、各種事業を展開しております。市民体育祭や上尾シティハーフマラソンをはじめとした多くのスポーツイベントには、テニス協会の皆様の御協力をいただき大変感謝しているところでございます。

近年、スポーツという言葉には様々な意味合いが含まれるものとなっております。競技としてのスポーツのみならず、健康を意識してのスポーツ、地域交流としてのスポーツ、またスポーツ観戦など、スポーツは幅広い意味を持つものです。本市といたしましても、そういったスポーツに対する捉え方の広がりを踏まえ、引き続き各種事業を展開してまいりますので、今後も御協力の程よろしくお願い申し上げます。

結びに、上尾市テニス協会の益々の御発展と関係各位の御活躍を祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。



## あいさつ

## 祝 辞

埼玉県テニス協会  
会 長 上 羅 廣

上尾市テニス協会が50周年を迎えられたことを心よりお喜び申し上げます。

また、この機会に記念誌を刊行されること、そこにお祝いの言葉を寄せる機会をいただいたことを大変光栄に存じます。

50年と言えば半世紀、人間でいえば壮年期になるでしょうか、人生の中でも最も充実している時期と言えると思います。しかし、ここに至るまで、一様に淡々と進んできたわけではなく、創設期には、最初に始める苦労まさに未知の体験を乗り越える方々が力を発揮されたと想像できます。

また、諸大会を開催し、初心者向けのテニス講習会やプロのコーチを招いての上級者のための技能講習会などを積み重ねながら、他のスポーツ競技種目の方々との連携の中で、市の体育協会に加盟するなど、テニス協会が社会的に承認を得、発展していく時期には、創設期とは異なった方々のご尽力があったらろうと推測いたします。

この時期特筆できるのは上尾、桶川、伊奈の三地区で交流大会を実施していることであります。自市テニス協会だけではなく市域を超えての交流大会の実施は先の時代を見据えた事業として評価できると思います。

限られた面数のプリンス公園、市民体育館、平塚公園を利用し、大会の盛り上がりを期待するのが難しい状況であったのが、1998年上平公園に10面を超える全天候型のコートが完成しコート状況は改善されたと思われま

す。ホームページを散見しますと、大会についてはダブルス、クラブ対抗戦、シングルス、ミックスなどの他に、初心者向けの新進大会や年齢別のシニア大会、シニアミックスなど多様な大会を開催し、シニア大会などは年齢別の分け方が5歳刻みで分けられ、きめの細かい運営がなされているように思えます。特に新進大会などは試合に出にくい初心者向けの大会であり、試合への導入大会と言えます。さらに、夏季に初心者ジュニアテニス教室を開設しており、普及活動も明確に位置付けており、全体を通して、丁寧できめの細かい協会運営がなされているように感じます。

50年を迎えるに当たり、協会活動に関わられた全ての方々のご尽力に敬意を表し、上尾市テニス協会の益々の発展を祈念し、お祝いの言葉といたします。

## あいさつ

# 創立50周年を祝して

上尾市スポーツ協会  
会長 遠山 正博

上尾市テニス協会が創立50周年を迎えられましたこと、心からお祝い申し上げます。

スポーツ協会におけるテニス協会の存在は、今日市内の様々な場所でプレーされているテニスの発展のために非常に重要な存在です。昭和49年、市内に硬式テニスの輪を広げることを目的に創立されて以来、多くのテニス大会の開催だけでなく、スポーツ協会の事業にご協力を賜り、市スポーツ文化全体の発展に寄与されたこと、厚く御礼申し上げます。

こうして50周年を記念誌という形でお祝いできることも、皆様のテニスを愛する思いと、常日頃から継続されている活動の賜物かと存じます。

さて、テニス協会の皆様におかれましては、その熱意と経験により、長きにわたって数々の行事を開催していただいております。「上尾市テニス大会」については、第99回ということで、その他の主催大会を含めると、100回を超える歴史と伝統のある活動と言え、テニスを通じて人々の関わりを深め、また健康増進に寄与されていることはたいへん喜ばしいことです。

そうした一方で、ジュニア初心者テニス教室など、テニスを始めるきっかけづくりを行う活動に対しても意欲的である姿勢は見習うべき点でございます。

つきましては、今後とも市内テニス文化の発展と交流のため、ひいては上尾市のスポーツ文化の隆盛のため、皆様の溢れ出る熱意と長年の経験による御尽力を賜りたいと存じます。

結びとなりますが、テニス協会がこの50周年を契機により、一層の飛躍とますますの御活躍をされますよう祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

## 上尾市テニス協会50年のあゆみ

### ◆ 創設期・充実期・成熟期 ◆

#### ◇創設期 {1974 (S49)～'76 (S51)} ◇

平成天皇様の軽井沢テニスコートでのロマンスが一大ブームとなり、S40年代にテニス人口は爆発的に増加し上尾市でも仲間を集めてテニスを楽しみたいと清水康彦氏（第2代会長）、前島暁氏（第3代会長）、浅井忠之氏（第2代理事長）が市の保健体育課に相談して市の広報に会員募集の案内を掲載、反響は大きく146名の希望者が集まった。

しかし肝心のコートは北上尾駅東の現在のPaPaの所にあった「プリンス公園」（平成天皇が皇太子の時＝プリンスが名称の由来）のクレーコート2面のみであったため大会を主体とした活動を開始、S49年11月4日第一回の市民大会を開催、男子64名、女子14名のダブルス大会を開催した。

#### ◇充実期 {'76 (S51)～'97 (H9)} ◇

1976年春『上尾市スポーツ宣言都市』の活動を記念して春大会を実施、以降春秋2回大会の実施がスタート。

'77 (S52) 年市の体育協会に正式加盟承認され、'78年の県大会の女子Sで浅井千鶴様が優勝、ミックスでも松本博・浅井千鶴組が優勝するなど大変充実。

初心者講習会、プロコーチによる中・上級者講習会実施、近隣の桶川、伊奈の3地区大会の実施、そして'87年には全国都市対抗大会・第1回埼玉予選大会に出場した。

#### ◇成熟期 {'98 (H10)～2024 (R6)} ◇

'98 (H10) 上平公園テニスコートがオープン、コート面数の増加と全天候コートの為大会運営が飛躍的に楽になり、クラブ対抗、年齢別シングルス、シニア大会と大きく充実しました。


しかし、2020～の新型コロナウイルスによる大会中止をせざるを得なくなり大変困難な時期となりましたが、協会加盟の各団体の支えにより何とか乗り切る事が出来、ここに50周年を迎える事が出来ました。

上尾市当局と関係団体、テニス協会加盟各団体各位の皆様に改めて感謝・御礼申し上げます。

# 上尾市テニス協会50年のあゆみ(記録編1)

## ◆ 1972-1986 ◆

主な大会の歴代優勝者、名前の前の数字は大会回数を示す、0内は所属略表示  
 ◆ 上尾テニスクラブ=上尾テニス、上尾グリーンテニスクラブ=上尾グリーン、上尾セントラルテニスクラブ=上尾セントラル、かべうちテニスクラブ=かべうち、プリンステニスクラブ=プリンス

経過年	西暦	和暦	会長	理事長	主な出来事	男子D(A)	女子D(A)	ミックスD(男・女)	男子S(A)	女子S(A)
	1972	S47			清水康彦・浅井忠之・堀口百合子で熊谷大会に参加、帰路設立相談					
0	1973	48			テニス団体設立準備(市広報に募集案内、44名集まる)					
1	1974	49	浅井進一	竹原光義	市体育協会に正式加盟	1 加藤義朗(日本化薬)	1 鈴木照子(西上尾第一団地)			
2	1975	50	浅井進一	竹原光義	日曜日、ハヤシテニスコートを借上げ練習会実施	2 国森昌之(上尾テニス)	2 前高百合子(西門前)			
3	1976	51	浅井進一	竹原光義	スポーツ宣言都市記念大会実施 大会は「春」「秋」2回実施となる	3 国森昌之(上尾テニス)	3 大木恵子(上尾テニス)			第2回大会優勝者・会長
4	1977	52	浅井進一	前島 晴	「ミックスダブルス大会」開始	4 国森昌之(上尾テニス)	4 鈴木照子(西上尾第一団地)	1 浅井忠之(上尾テニス)		
5	1978	53	浅井進一	前島 晴	男子を「A」「B」に分ける 「上尾・蒲川・伊奈三地区大会」開始 「県大会一般女子シングルス」優勝 【浅井千鶴】 「県大会ミニミックスダブルス」優勝 【松本博・浅井千鶴】	5 松原永次(第一勧業)	5 浅井千鶴(上尾テニス)	1 浅井忠之(上尾テニス)		
6	1979	54	浅井進一	前島 晴		6 国森昌之(上尾テニス)	6 岩崎由利子(上尾テニス)	2 松本 博(上尾テニス)		
7	1980	55	浅井進一	前島 晴		7 松本 博(上尾テニス)	7 岩崎由利子(上尾テニス)	3 黒木 孝(上尾テニス)		
8	1981	56	浅井進一	前島 晴		8 菅野 茂(上尾テニス)	8 西山紀子(上尾テニス)	4 黒木 孝(上尾テニス)		
9	1982	57	浅井進一	前島 晴	日産ディーゼル、がんセンター利用 プリンス公園コート利用	9 兼杉照明(上尾テニス)	9 修行節子(上尾テニス)	5 佐々木忠英(三井金属)		
10	1983	58	清水康彦	浅井忠之	日産ディーゼル、がんセンター利用 プリンス公園コート利用	10 西崎泰博(ハヤシテニス)	10 内藤恵子(上尾テニス)	6 大木淳一(上尾テニス)		
11	1984	59	清水康彦	浅井忠之	「クラブ対抗」開始 「シングルス大会」開始	11 二階堂勝三(ハヤシテニス)	11 内藤恵子(上尾テニス)	7 大木淳一(上尾テニス)		
12	1985	60	清水康彦	浅井忠之		12 兼杉照明(上尾テニス)	12 兼杉由利子(上尾テニス)	8 西崎泰博(ハヤシテニス)		
13	1986	61	清水康彦	浅井忠之	「県大会推薦選手選考会(シングルス)」開始	13 佐々木正和(上尾テニス)	13 浅井千鶴(上尾テニス)	9 安藤洋之(ペアーズ)		



第1回ミックスダブルス大会優勝者



# 上尾市テニス協会50年のあゆみ(記録編3)

◆ 2003-2017 ◆

30	2003	15	清水康彦	浅井忠之	「シニア大会」開始 ポイント制試行 (H16秋から実施)	57-一里山尚美(EAT) 武田康代(上尾グリーン) 58嶋田照美(上尾ユニス) 太田清子(Fユニス)	27山口 圭(上尾セントラル) 嶋田照美(上尾セントラル)	20新井伸吾(SEVEn colorS)	20岩崎理恵(ステッビー)
31	2004	16	前島 暁	浅井忠之	会計年度変更4月⇒3月 県大会推薦枠拡大	59伊沢由紀子(SSTC) 嶋田由美子(SSTC) 60寺元 宇(上尾セントラル) 伊藤伸彦(上尾セントラル)	28宮西和弘(FCC) 新木純子(FCC)	21宮坂広毅(プリンス)	21太田清子(おてんば)
32	2005	17	前島 暁	安藤洋之	女性理事の推薦を上尾テニス、上尾グ リーニに要請	61伊沢由紀子(SSTC) 嶋田由美子(SSTC) 62嶋津和恵(EAT) 一里山尚美(EAT)	29宮坂広毅(プリンス) 宮坂直子(プリンス)	22小野塚真一(かべうち)	22黒河麻由美(A T)
33	2006	18	前島 暁	安藤洋之	協会のPCを整備活用開始 各大会の運営を主管理事が運営	63須田真由美(パワーズ) 山下真司(YCT) 64外山山りか(上尾セントラル) 徳島律子(上尾セントラル)	30山下真司(かべうち) 長竹舞子(SEVEn colorS)	23新井伸吾(SEVEn colorS)	23藤崎由美子(S S T C)
34	2007	19	前島 暁	安藤洋之	「年齢別シングルス大会」開始 登録番号付与し取得ポイントを明確化し 活用開始	65伊沢由紀子(SSTC) 嶋田由美子(SSTC) 66宮坂直子(プリンス) 新井伸吾(SEVEn colorS)	31金子伸輔(上尾セントラル) 太田清子(上尾セントラル)	24菅野晃弘(S S T C)	24一里山尚美(E A T)
35	2008	20	前島 暁	安藤洋之		67須田真由美(パワーズ) 島山由美子(SSTC) 68松野祐子(プリンス) 宮坂直子(プリンス)	32宮坂広毅(プリンス) 松野祐子(プリンス)	25菅野晃弘(S S T C)	25石井亜紀子(一発屋)
36	2009	21	前島 暁	安藤洋之		69嶺山田佳(かべうち) 藤藤美実(かべうち) 70荒井里夏(大阪屋) 村上幸江(大阪屋)	33秋本昇一(上尾セントラル) 太田清子(上尾セントラル)	26丸岡智哉(一発屋)	26中村春美(一発屋)
37	2010	22	前島 暁	安藤洋之		71伊沢由紀子(SSTC) 嶋田由美子(SSTC) 72佐藤亮一(一発屋) 久保 忍(一発屋)	34秋本昇一(上尾セントラル) 太田清子(上尾セントラル)	27岸原 傑(J U T C)	27新井悦子(SEVEn colorS)
38	2011	23	前島 暁	安藤洋之	「シニアミックス大会」開始 H P掲載運用開始、附催委員、ドロ―他 ネット掲載	73島山由美子(SSTC) 菅野晃弘(SSTC) 74島山秀和(U D T ラックS) 田中教之(U D T ラックS)	35岡崎雄策(ステッビー) 柴田多鶴子(ステッビー)	28大隅広貴(temmis babo)	28伊沢由紀子(S S T C)
39	2012	24	前島 暁	安藤洋之		75浦澤 京(テニストラント上尾) 日井 元(テニストラント上尾) 76大隅広貴(temmis babo) 金森 浩(temmis babo)	36新井良太(チーム アダレン) 新井意美(上尾セントラル)	29大隅広貴(temmis babo)	29一里山尚美(上尾セントラル)
40	2013	25	前島 暁	安藤洋之		77大隅広貴(temmis babo) 金森 浩(temmis babo) 78小林弘明(SEVEn colorS) 中村孝裕(SEVEn colorS)	37斎藤 均(エフオーツ) 斎藤尚美(ステッビー)	30大隅広貴(temmis babo)	30内河美穂(上尾セントラル)
41	2014	26	前島 暁	安藤洋之		79新井伸吾(SEVEn colorS) 松延健一(SEVEn colorS) 80戸田圭祐(あつびーず) 幸阪智治(上尾ユニス)	38宮坂広毅(プリンス) 宮坂直子(プリンス)	31大隅広貴(temmis babo)	31内河美穂(上尾セントラル)
42	2015	27	前島 暁	安藤洋之		81藤田 智(一発屋) 島山秀和(一発屋) 82遠藤和弘(プリンス) 横山和輝(プリンス)	39大隅広貴(temmis babo) 稲島 鷹(JSAニーク)	32菅野晃弘(一発屋)	32内河美穂(上尾セントラル)
43	2016	28	前島 暁	安藤洋之	協会登録は1月と7月に限定 ポイント制度の改正 A : 4000, 3000, 2000, 1000 B : 150, 80, 50, 20 C : 7, 4, 3, 1 「県大会推薦選手選考会(ダブルス)」開 始 コート際の緊急応急修理実施 「県大会(春)一般男子ダブルス」優勝 【金成亮介・松島拓也】 【県大会(春)一般女子シングルス」優勝	83川崎良江(大阪屋) 石井亜紀子(一発屋) 84石井亜紀子(一発屋) 新井意美(上尾セントラル)	40中橋直隆(大阪屋) 中橋明花(大阪屋)	33石本貴幸(上尾セントラル)	33堀江亜衣(上尾セントラル)
44	2017	29	前島 暁	安藤洋之		85崎崎智夏(大阪屋) 川崎良江(大阪屋) 86石井亜紀子(一発屋) 新井意美(上尾セントラル)	41中橋直隆(Glub ACTAS) 中橋明花(Glub ACTAS)	34石本貴幸(上尾セントラル)	34堀江亜衣(上尾セントラル)

# 上尾市テニス協会50年のあゆみ(記録編4)

◆ 2018-2024 ◆

45	2018	30	安藤洋之丸	行弘	「県大会(春)一般女子ダブルス」優勝 【坂本明香・村上ひろか】	87寺元 学(上尾セントラル) 伊藤伸彦(上尾セントラル) 88中橋直隆(Glub AGTAS) 川上 淳(Glub AGTAS) 89谷川 隆(一発屋) 遠藤和弘(プリンス) 90花房政紀(ぶっきーず) コバヤシ ティアガル(ぶっきーず)	87新井恵真(上尾セントラル) 鈴木理直(アークス) 88堀江亜衣(上尾セントラル) 堀田久美子(上尾セントラル) 89堀江亜衣(上尾セントラル) 堀江真帆(上尾セントラル) 90石井亜紀子(一発屋) 新井恵美(上尾セントラル)	42構田 智(一発屋) 六本木裕美(一発屋)	35石本貴幸(上尾セントラル)	35堀江真帆(上尾セントラル)
46	2019	10元丸	行弘	大吉哲郎	「県大会(春)一般女子シングルス」優勝 【坂本明香】 テニスコート改修のお願い (市長・市議会)	91【中止】 92【中止】	91【中止】 92【中止】	43川口拓馬(エフォーツ) 古橋祐夏(ペアーズ)	36石本貴幸(上尾セントラル)	36堀江亜衣(上尾セントラル)
47	2020	2丸	行弘	大吉哲郎	新型コロナウイルス流行で中止 獲得ポイントと出場クラスの改定 A : 制限なし B : 70未満 C : 4未満	93古川直隆(Glub AGTAS) 渡邊皓大(Glub AGTAS) 94【中止】 95渡邊皓大(Glub AGTAS) 古川直隆(Glub AGTAS) 96古川直隆(Glub AGTAS) 渡邊皓大(Glub AGTAS) 97菅野昇弘(一発屋) 反町圭介(一発屋) 98森下裕貴(上尾セントラル) 白石 祐(上尾セントラル) 99堀江亜衣(上尾セントラル) 森下裕貴(上尾セントラル) 100	93堀江亜衣(上尾セントラル) 堀江真帆(上尾セントラル) 94【中止】 95堀江亜衣(上尾セントラル) 堀田久美子(上尾セントラル) 96石井亜紀子(一発屋) 駒津芳枝(一発屋) 97石井亜紀子(一発屋) 駒津芳枝(一発屋) 98堀江亜衣(上尾セントラル) 堀江真帆(上尾セントラル) 99堀江亜衣(上尾セントラル) 堀江真帆(上尾セントラル) 100	44【中止】	37【中止】	37【中止】
48	2021	3丸	行弘	大吉哲郎	新型コロナウイルス流行で中止続く	99堀江真帆(上尾セントラル)	99堀江真帆(上尾セントラル)	45瀬戸川 勲(一発屋) 坂谷 香(一発屋)	38【中止】	38【中止】
49	2022	4丸	行弘	米山寛之	平常日程で大会運営に戻る	100	100	46手塚源留(Fテニス) 手塚幸江(Glub AGTAS)	39石本貴幸(上尾セントラル)	39石山 舞(グッドラック)
50	2023	5丸	行弘	-				47杉浦貴志(プリンス) 関口房代(プリンス)	40石本貴幸(上尾セントラル)	40吉野結衣(ang!e)
51	2024	6丸	行弘	-	創立50周年記念(第100回)大会を実施 協会登録は個人の1団体登録に限定			48今成亮介(上尾セントラル) 坂本明香(上尾セントラル)	41	41

# 上尾市テニス協会登録団体紹介

## 上尾テニスクラブ

【代表者氏名】：大木 淳一

上尾市テニス協会創立50周年  
おめでとうございます。

日頃より運営にご精進頂き誠に感謝致します。

時を同じくして私ども上尾テニスクラブも50周年を迎えます。50年前に上尾市で始めにできたクラブでしたので、創立者である亡き父大木義夫が上尾テニスクラブと名付けました。

場所は上尾市の南側に位置しクレーコート6面ハードコート2面壁打ちクラブハウスを設け、主に会員制とし他に一般レッスンジュニアレッスンをし運営しております。休業日は設けず、いつ来てもご自身の好きなスタイルでテニスを楽しめるクラブでありたいと思っております。

現在、会員数は150名ほどで10歳から87歳と幅広い年齢層の方が在籍しておりますが、性別年齢関係なく楽しんで頂いております。そし

て近年では身体能力精神能力を使うため健康増進に効果があり、最も寿命を延ばすスポーツだと科学的にも証明されております。

コートを維持して行くにはいろいろな面で大変ですが、皆様の楽しんでいる笑顔を励みに環境を整えこれからも経営していきたいと思っております。

上尾市テニス協会をはじめテニス愛好者皆様のご繁栄を心よりお祈り申し上げます。



## 上尾グリーンテニスクラブ

【代表者氏名】：富永 吉昌

創業は1981年(昭和56年)6月。テニスブームと共に歩み始めました当クラブは当時、隣接の「上平公園」も開場しておらず、周囲は深い緑に囲まれた静かなエリアでした。時を経て、男性、女性もレベル向上を目標に数々の試合、大会に参戦し華々しい盛隆期を迎えておりました。2000年代に入り、多種多様な生活習慣が身の回りに栄え、「テニスにて心身共に健康」を期に、多くのクラブ会員の皆様に支えていただき、今日のテニスクラブの役割を果たしております。

テニススクール、レンタルコートの需要の増加にて「一般テニス愛好家」にも選ばれるテニスクラブとして過ごされる機会が増えていきます。コロナ禍を乗り越え、さらなる健康志向が定着してきました。「週に一度は気の合う仲間た

ちと楽しくテニス」とのニーズにもお応えし、一方、自身のレベル・ランクアップを目指して練習や試合に励む層と、あらゆるプレーヤーにご利用を頂いております。

## 上尾グリーンテニスクラブ





## 上尾セントラルテニスクラブ

【代表者氏名】：遠山 智一

昭和57年開設で今年43周年を迎えます。上尾駅から真東、徒歩15分のところにあります。オムニコート7面で約100人の会員のほかテニススクール、早朝テニス（予約制）もやっています。ビジターの方も大歓迎です。月曜定休ですが会員の要望があれば、雨天以外はほぼ毎日オープンしています。駐車スペースは約50台分あります。

会員の男女比は約2：1ですが、スクール生は男1：女3になります。日曜日には中学生以下のジュニアスクールもあります。不定期ですが、いろいろなテニスイベントやテニスウェアの販売会も開催しています。また日曜日にはクラブハウス内に整体スペースを開設したり、会員の持ち込みでの果物や野菜の直売もやっています。

創立以来の会員はほとんどいなくなりましたが、30年以上続けている方も少なくありません。親子3代という会員もいます。各地のテニス大会で活躍している会員もたくさんいます。優勝、準優勝の告知スペースは途切れることはありません。



## UDトラックス

【クラブ名称の由来】：会社名

元々は日産ディーゼル工業という会社名でしたが、2010年にUDトラックスに社名変更し、同様にクラブ名もUDトラックスに変更しております。

【代表者氏名】：仙元 繁和

UDトラックステニス部は、毎週日曜日9：30～12：30まで上平公園横の上尾グリーンテニスクラブで活動しています。

メンバーは約30名で、UDトラックスに勤める社員、OB、その家族、友人です。年齢構成は20～70代、国籍も多彩です。レベルはラケットを初めて握った初級者から上級者まで幅広く、賑やかにコミュニケーションを図りつつ、クラブ全体の実力の底上げを図るといった難しい練習法の模索に日々奮闘しております。

一年間の活動は、上尾市民大会や埼玉県実業団への参加、夏合宿の実施、また11月にはUD社員とそのご家族を対象に社内テニス大会を開催しております。

また、年1回、親会社のいすゞ自動車テニス部や協力メーカーのボッシュテニス部ともお互いのコートに遠征し合って、切磋琢磨するとともに交流を図っております。

昨年の埼玉県実業団秋季テニス選手権大会では、男子Bトーナメントに出場し、見事準優勝という戦績を収め、今年からは男子Aトーナメントに昇格しております。

今後も上尾市に位置するトラックメーカーとして、地域活性化の一翼を担っていきたくと考えております。



## AT

【代表者氏名】：須賀 富士男

【会員数】 12名

ATというサークル名は「愛宕三丁目テニスクラブ」が原点となります。その起源は今をさかのぼること46～7年前、当時の上尾市長がスポーツ振興促進の一環として市内の小中学校の校庭開放を始めたこと知った人達が中学校のテニスコートを借りることになりました。その時申請するための名称として中学校の所在とメンバーのほとんどが愛宕三丁目だったので「愛宕三丁目テニスクラブ」としたとのことでした。

その初期メンバーで17～8年位続いていたところへ年齢の少し若い次の二世代目のメンバーが続々と加入してきた時期がありました。そしてその若いメンバーのなかから上尾市の市民大会に参加しようという話が持ち上がりました。

その二世代目のメンバーは正式なサークル名を知らなかったのが先輩方に登録する為のサークル名を相談したところ、愛宕三丁目テニスクラブの「あ」を取りATということになりました。その時期はうろ覚えで定かではないのですが、おそらく2002～4年頃かと思います。

今現在はスタート時のメンバーは一人もいなくなりまた中学校のコートも学校側の要請もあって使用出来なくなりました。ATのメンバーも最盛期には40名近くの登録者もいましたが、その二世代目もほとんどいなくなり次の世代の若い人がポツリポツリと補われて今では12名となってしまいました。この少数精鋭のメンバーで頑張っていますのでこれからもよろしくお祈りします

## YCT

【代表者氏名】：八幡 正人

YCTを紹介します。

代表者は八幡正人初代代表者から引継ぎ活動を始めてから25年が経ち現在12名のメンバーが在籍しています。

クラブ名YCTの由来ですが、「Y」代表頭文字、「C」個性豊かなキャラの集まり「T」テニ

ス土日午前中を中心に上尾市、川越市、さいたま市、伊奈町のコートで、練習よりも試合中心で楽しんでいます。クラブの自慢と言えば皆テニス大好きで、雨でもめったに中止にならない変なキャラの集まりです。なので雨の大会は強いですよ～～～



## アーバン

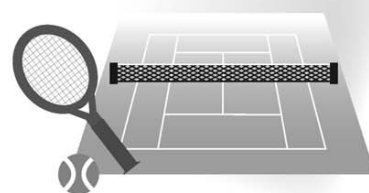
### 【クラブ名称の由来】

当初協会登録時はテニスで快走目指し「快足アーバン」、その後実態に即し「快足」が取れ「アーバン」に改名

### 【代表者氏名】：大吉 哲郎

「アーバン」は元々CA上尾のスクールに通っていたメンバーの集まりです。その後高齢のため引退・メンバーの知り合いが随時加入などによる増減があり登録人数は15-20名程（現在15名）で推移しています。新加入メンバーの年齢もほぼ同じ世代のため平均年齢は年々上がり、現在65歳を越えています。年齢も高いので健康に気をつけてケガしないように毎週末及び祝日に、主に上平のコートで楽しんでプレイしています。

大会にも細々と参加していますが女性陣のほうが強く、男性陣は参加することに意義を見出しています。



## 一発屋

### 【代表者氏名】：菅野 晃弘

2005年（平成17年）3月にテニス馬鹿が集まり前代表の佐藤晃一さんが立ち上げました。

現在約35名（40代～50代が中心）の古豪サークルです。

以前はサークルで練習会を行なっていましたが、現在はサークルとしての練習会は行っておりません。

土日祝日に埼玉県、上尾市、さいたま市のコートを予約し、個々の仲間でレベルアップに励んでいます。

戦績としては、上尾市では男女共にシングルス、ダブルス、団体戦で優勝経験があります。

また、近隣の市民大会に出場したり、県大会本戦選手もいます。

若手の壁になり、まだまだ上位進出を目指しているチームです。



## 大石テニスクラブ (大石TC) ・ 大石テニスクラブエイム (大石TCA)

【代表者氏名】：若月 啓宣・人見 隆雄

大石TCは1992年3月に大石保育所を卒園した園児の父母がメンバーの中心となり、同年11月に20数名で発足しました。

大石保育所由来であることから大石TCと命名しました。

当初はほとんどが全くの初心者で夫婦での参加者も多く、子連れで子守をしながら練習や合宿を行っていました。

5～6年間は部内大会を開き内部で試合を行っていましたが、その後、上尾テニス協会に登録し、大会に参加しています。

長い間、1回戦負けが続き、クラブ対抗戦でも低迷していました。

当初のメンバーが少しずつ減る一方、会員が友人を勧誘、紹介することでメンバーが増え、現在の所属メンバーは38名（男性：29名・女性9名）です。

コロナ禍以前は土日祝日が練習日でしたが、

コロナ禍によりシニアへの感染防止のため現役組（週末）とシニア（平日）を分けた練習にしました。

またクラブ登録もシニア中心の大石TCと、現役中心の大石TCAの2つに分けましたが、もともと1つのクラブですのでコロナ終息後は一体となって練習しています。

現在は両クラブとも男子は1部昇格を果たし、更なる技術アップを図る練習をする一方でゲームを楽しみながらの活動を続けています。

（また、長年活動していると他クラブとの交流が増え相互に練習に参加しています。）



## かべうちテニスクラブ

会員数：18名（2024年1月）

クラブ発足年：1986年

【クラブ名称の由来】

当時テニスコートを使用できる環境が今ほどよくなく、上尾市民体育館にテニス用の壁打ちがあり、そこで顔見知りになった人達を中心に、クラブの発起人である山田正雄氏がまとめ上げた為、この名の由来となっています。

【代表者氏名】：山下 貴司

マッケンロー、レンドル、エドバーグ、そしてルコントなど、当時の世界の名だたる選手を愛してやまない個性豊かなメンバーでスタートしました。

その後、某大学体育会OBの鬼部長とその後輩ガバチョをはじめ、メンバーの交流関係から幅広く仲間を増やし、現在に至ります。

土曜日または日曜日の午後を中心に、久喜市や桶川市の市営コートを借りて練習を行っています。

練習内容は、ラリー、ボレーストローク、スマッシュ、そしてサーブ練習などを30分程度行った後、残りの時間はダブルスの練習に費やします。

初心者から経験豊富なプレイヤーまで、みんなが楽しく参加できる「かべうちテニスクラブ」は、年齢を重ねても向上心旺盛な仲間がそろっています。

メンバーの多くが50代から60代となり高齢化が進んでおりますが、フレンドリーな雰囲気やテニスを楽しむことをモットーに、これからも新たな挑戦や出会いを通じて、さらなる成長と楽しみを共有していきます。

37年という歴史の中で、静岡への転勤中にも毎週、サークルを支えてくれた発起人である初代代表の存在がかかせません。初代代表の想いを継承すべく私たちは最長サークルを目指します。

## ステッピー

【代表者氏名】：船戸 秀子

ステッピーも立ち上げからあつという間に約20年。が経過いたしました。40代が50代60代になり、構成メンバーの9割が女性の熟女軍団です(笑)。「健康第一と参加する事に、意義があり」をモットーに自分自身の趣味として、個々其々の生活スタイルに合わせた活動しております。

年に一度の団体戦は参加可能な方のみで構成し、今ではお楽しみの一つの行事です。年に一度、顔を合わせる方が多いです。

テニスを生涯スポーツとし、試合に参加して楽しみながら歳を重ねていければと思っています。



## プリンステニスクラブ

【クラブ名称の由来】

北上尾のプリンス公園（現在のPAPAショッピングモール）でテニスの仲間が集まり“プリンステニスクラブ”という名前で作成。

【代表者氏名】：平野 武

クラブ結成当時は15名程度で主にプリンス公園のテニスコートで練習、その当時は上平公園

テニスコートもなく、団体戦もプリンス公園テニスコートで行われた。後にプリンス公園が再開発でPAPAショッピングモールとなり、練習場をスポーツ総合センタに移し、毎週土曜日を練習日とした。最近は市民体育館テニスコートを練習場として技術向上の場としている。



## RISE

### 【クラブ名称の由来】

朝陽のように上昇する気持ちを大切にしよう！との願いを込めて。

【代表者氏名】：倉元 英一郎

2012年発足当時は別名(ペッシュ)での登録でしたが、合併を経て現在18名が在籍、男女同数でケガのないよう和気あいあいと活動しております。初期メンバーのほとんどが初心者だったので、試行錯誤で始めましたが近頃は随分とテニスらしくなって来ました。

週末の練習では試合形式だけでなく、足りない技術・経験を補う『しっかり練習』も大切にしています。プレー以外では各々が出来ることを無理のない範囲で協力しようをモットーにしています。

上尾市の大会には新進戦からお世話になり、徐々にクラスアップをしてきました。大会で結果を出せた者がいたら我が事のように喜ぶ、気のいい仲間たちです。

出会った頃よりかなり歳を重ねてしまいましたが、いくつになっても「上手になりたい」という気持ちを忘れずにコートへ立ち続けたいと思います。



## ラブオール

【代表者氏名】：丸 行弘

32年前頃、上尾CA Eクラスのおじさん達、レッスンが物足りなくなり、県民活動センターのコートを取り始めたのがきっかけでした。以降、家族(CA会員)やその友達に参加するようになりサークルとして活動が始まりました。

テニスよりアフターの飲み会等の方がメインで、時々他のサークルと対抗試合をしたり、軽井沢で合宿をしたり、テニスを楽しんでから飲み会をしていました(▽)

名称もメンバーが東京で活動していたサークルのトレーナーを見て、おじさん達が「その名称がいい！」と言うことで譲って貰いました。

初めは、LOVE ALL II でした。

途中から東京のサークル活動がなくなり、大会など参加するようになったので正式に名称を頂きLOVE ALLになりました。

現在の登録者数は、男子19名、女子17名です。

毎週日曜日、上尾運動公園、上尾市民体育館、上平公園のいずれかで、13:00から17:00まで、試合を中心に練習をしています。



## MTC

**【代表者氏名】**：遠山 真由美

始まりはママ友のテニスサークルからでした。コート脇で子どもたちを遊ばせながら、おしゃべりしながら、テニスしていました。20年くらい前からマミーテニスサークルというチーム名で上尾市民戦に出場するようになり、仲間が増えたり、減ったりしたのち、チーム名をMTCに変更しました。それから14年が経ちます。現在、メンバー全員での活動は出来ていませんが、男子10名、女子6名、30歳代から70歳代までの幅広い年齢層のチームです。活動は不定期で、土曜日にコート（上平公園、平塚公園、市民体育館）が確保できれば、基礎練習無しのゲーム練習（シングルス、ダブルス、ミックス）をしています。健康を維持しつつ、日常のストレスを発散できればいいなあと思いながら・・・。「テニスが好きだ!」という情熱を持ち、技術向上と大会で一つでも多く勝利することを目指し頑張っています。最近では男子ダブ

ルスBでベスト8、女子ダブルスBで優勝など結果も出しています。クラブ対抗戦は男女とも2部に属していますが、今年はどうなることでしょうか。



## 大阪屋

**会員数**：52名

**創設年**：2006年

**【代表者氏名】**：須賀 典子

上尾市テニス協会50周年おめでとうございます。

男女混合の前身サークルから女ダブルスが出来るサークルを作ろうと2006年に発足しました。後年男性メンバーも加入して今に至っています。当初のメンバーを中心に毎週日曜日、上平公園・平塚公園にてゲームをメインにプレイしています。

テニス協会の行事には各大会とクラブ対抗戦に参加しています。クラブ対抗戦は毎年一番の楽しみで男女共にエントリーしています。女子は2組参加。星組は1部上位を目標に！ 月組はひたすら楽しくをモットーに！ 皆で練習に励んでいます。お花見・飲み会・ハイキング等テニス以外でも親交を深めています。

『大阪屋』の名前の由来は、アリオ近くのお

好み焼きの『大阪屋』さんの看板娘がメンバーの一人なのでお店の名前をお借りして『大阪屋』に決定!!

これからも両方の大阪屋をよろしく願いいたします。



## W-WING

【代表者氏名】：能重 佐和子

2001年にコーチをお招きしてのレッスンサークルとして発足し、上尾市テニス協会には2007年より登録させていただいております。

活動拠点は上平公園、女子のみで現在8名です。

サークル名の「ダブルウィング」は、まるで羽根が生えたかのように自由に（かつ華麗に）プレイできるように、という願いを込めて命名したと聞いています。

テニスだけでなく、長い時間を共有してきた仲間たちと、真剣に、楽しみながらテニスが続けていけたらと思っています。

チームで参加できる上尾市のチーム戦を毎年楽しみにしており、ナイターまでの死闘となっ

た2023年の大会終了後のやりきった写真を添付します。

（この日参加できなかったメンバーは今年こそ一緒に頑張ろう！）



## チーム・C

【クラブ名称の由来】

当時所属クラブを独立3人が、毎週末様々なクラブに混ぜてもらいながら活動していました。

そうしているうち、志を同じくする者5名で立ち上げたのが「チーム・C」です（2007年3月）。

毎週それぞれ各地（各チーム）を転戦しているさまが、あたかも「サーカス」のようでハラドキドキの誕生背景から名付けました。

サーカスの「C」ですが、他にも「チェンジ」「チャレンジ」「チャージ」の意も含まれています。

【代表者氏名】：長島 正治

毎日曜の午後、上尾、久喜を中心に3～4時間活動しています。

チームコーチの下、前半各シーンを想定した練習を行い、後半ゲームに興じております。

コロナ禍以来現在は見合わせていますが、チーム・Cの特筆すべき活動は「合宿」の多さ。年間3回、多い時には4、5回行っておりました。

立上げの河口湖から始まり、斑尾、日光、佐久、沼津、那須、大子、八ヶ岳、山中湖、白

子、青梅、川場、等々遠くは福島まで。温泉と宴会とテニスコートを求めて「サーカス」しました。ちなみに何度も日光には行っているものの、東照宮は知りません。そろそろ企画しましょうか?! 皆様。

最後に、50～70代の男女16名が、肩、肘、腰、膝の痛みを抱えながら集っております。段々「お達者クラブ」の様を呈してきましたがまだまだ若い者には負けないゾ ともう少し頑張ります。』





## ペアーズテニスクラブ

### 【クラブ名称の由来】

ダブルスのペアーが複数集いテニスを通じて親交を深めたいと複数とした。

### 【代表者氏名】：前島 暁

関口博夫⇒関 明⇒安藤洋之⇒前島暁と代表者の交代はありましたがテニス協会創立当初からのクラブです。

当初は現在のコミュニティセンターの近傍に

有ったハードコートで練習をする仲間で設立されました。その後コートは無くなりましたがクラブ員が所属する県内のオープン大会や市民大会に出場し、活動を継続、後年はまだ仲間はいないが一人で市民大会に出たいとの希望のある個人の受け皿として継続、現在に至っていません。

## あすなろ

あすなろは、会員数10名、コーチ1名合わせて11名のサークルです。会員の内訳は、女性8名、男性2名で、圧倒的に女性が多いサークルです。年代別でいうと、50代7名、60代1名、70代2名となっております。

創設について詳しくは不明ですが、一番長く在籍しているメンバーが平成19年加入、今年で17年目となり、それ以前からありますので、20年ほど長く続いているサークルです。(名前の由来はすみませんがわかりません)

足の怪我やおうちの都合で辞めた方もごくわずかにおりますが、その他は仕事の都合をなんとかつけて長く続けており、アットホームなサークルです。

主な活動場所は上平公園で、週1回水曜日(夏期は9時から冬期は10時)2時間コーチ付きのレッスンを受け、その前後に自主練をしています。

レベルは初級～中上級幅広いメンバーが楽しんでおります。

毎年試合にも出場しており、先日行われた春の上尾市民大会、秋の上尾市民大会、新進大会が主なものとなります。

近年、大会に向けて練習することで、意識も変わり、サークルのレベルも少しずつではありますが、上がってきているように思われます。

それぞれが忙しい中ではありますが、サークル以外でも個別に練習し、課題を絞って取り組んでおります。

他のサークルと定期的な交流などはありませんが、マイペースに週一回活動しております。

サークル加入当初は30代40代が中心でしたが、年月とともにみんな50代となり、一見、元気にみえても、故障するメンバーがちらほら見受けられるようになりました。

足腰強化のために、健康のため、体のメンテナンスをしながら、無理せず続けていこうとみんなで励ましながらプレイしています。

大所帯なサークルではありませんが、明るく、楽しく、元気よく、楽しみながら上達できたらと思っています。



## Club ACTAS Club Ageo Cheerful Tennis Addicts

### 【クラブ名称の由来】

倶楽部アクタスは三度の飯よりもテニスが  
だあい好きな陽気な仲間たちの倶楽部として  
頭文字を取り倶楽部名としました。

【代表者氏名】：齋藤 哲夫

【会員数】：女子69名&男子90名

### 倶楽部のPolicyとConviction

- ①いつでもgood loser精神であり、相手を思いやる気持ちを持つこと。
- ②ルールを熟知し、常に正しい判断が出来るfair play精神であること。
- ③1年を通し楽しく練習が出来る場を設け、年齢を越えて交流が図れる組織作りと若い方の育成を図っていける、そんな倶楽部を創造します。

2002年頃にさいたま市のコートを拠点として

いた若者中心のクラブに参加し活動を始めました。途中まとめ役となり、徐々にクラブが大きくなり、2012年独立し上尾市テニス協会に登録しました。



## OZ (オズ)

### 【クラブ名称の由来】

童話「The Wizard of Oz」に由来します。

我々チームメンバーは物語の登場人物のように鮮やかな個性を持ち合わせています。

魔法が無くとも1人1人が勇気を持ち自分自身を信じて挑戦し続けること、また連携することで目標を成し遂げられる！

普遍的なメッセージですが、そんなマインドを大切にできるチームでありたいと集いました。

【代表者氏名】：坂本 将史

中学3年間軟式テニス部

高校で硬式を始め、半年で帰宅部に(笑)

大学ではサークルで週1、社会人になってからもサークルで大体週1で続け、辞めたり辞めなかったりを繰り返し、ここ3年ほど熱が入っています！

### ・活動実績

立ち上げたばかりのチームの為、活動実績はまだありません。

チームメンバーは、各々のサークル活動やテニススクールで練習するテニス大好き仲間や元あっぴーすメンバーが中心に集まり、日々の練習の成果を大会に参加し、楽しみ、そして大会上位進出を目標にしています。

(過去には上尾市民大会等で活躍した者もいるとかいないとか・・・)

メンバー数は男子5名、女子2名となっており、少数ながら存在感を出していきたいと思っています。

## T B J

### 【クラブ名称の由来】

さいたま市の某高校テニス部OBが仲間内でテニスをしていて、上尾市の試合に出るためにチームを発足しました。

先輩方が付けた名称ですが、試合に出るのに漢字表記は恥ずかしいという意見から現在の表記になりました。

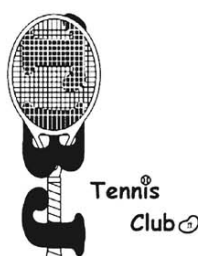
### 【代表者氏名】：飯田 香織

主にさいたま市にある市営・県営コートを利用しています。

昔は桶川のハードコートで月1～2回の練習+飲み会やイベント多めのサークルでした。現在はメンバーがだいぶ入れ替わり、年齢を重ねたためオムコートでの練習に変わりました。活動日は土日祝で、9～17時の間で2～4時間です。

### 【メンバー構成】：男女7：3くらい

2024年度の上尾登録人数は男性16名、女性8名です。男性シングルスプレーヤーが多めですが、シングルの試合前以外の練習会は基本ダブルス練です。チーム内では女ダブの機会が少ないため、練習会に参加出来て一緒にクラブ対抗戦に出て頂ける中上級の女性は随時募集中です。



## テニスラウンジ上尾

### 【代表者氏名】：川崎 裕人

テニスラウンジ上尾は埼玉県上尾市にあるテニススクールで、最寄り駅は上尾駅です。インドアテニスコートで雨・風・日焼けの心配がなく、夏は冷房も完備しており、快適にテニスをしていただけます。高密度人工芝というコートサーフェスを使用しており、足腰に優しいコートです。一般クラス・学生クラスは勿論、シニアからはじめるクラス・家族と一緒に通えるクラスなど、幅広い年代やレベルに合わせたクラスがあります。そして、なんといってもコーチとスクール生様の雰囲気が良いのが自慢です。テニスラウンジの特徴は、とにかく初心者にやさしいことです。

全くテニスをしたことない方を対象にしたコースも用意しており、はじめての方が安心して楽しめる環境を整えています。

私たちのテニススクールでは、一人ひとりの上達度合いを確認しながら、レッスンをうまくコーディネートしていきます。

細かくグループ分けを行うことで、初心者の方でも無理なくレッスンを受けられ、他人の目

を気にせず思う存分テニスを楽しめるのが魅力です。ラケット、シューズの貸し出しもしております。テニスをはじめるならテニスラウンジ上尾!

### 【会員数】：約500名

(上尾市テニス協会登録：60名)



## マジックショット

【代表者氏名】：吉田 大祐

私達「マジックショット」は、約3年前に同じ職場で働くテニス好きのおじさん2名が平日上平公園のナイターでテニスを始めたのがきっかけで、切れ味鋭いショットを打てるようにと命名しました。

職場の若者に声掛けして初心者も含め10名程度で、時にはコーチを依頼して指導を受けながら練習をメインとして楽しくテニスをやっております。

定期的に活動をしているうちに、輪が広がり、現在は社外の方とも一緒に練習や試合をして楽しんでいます。

技術的にはまだまだで、春や秋の大会に出場しては悔しい思いを沢山していますが、今後の成長を信じ、これからもずっと楽しくテニス活動が続けていければと思っています。



## サンデーチャレンジテニス

【クラブ名称の由来】

テニス愛好者が日曜日のひと時を一緒にプレイすることを通して、新たな自分を発見して愉しもうという趣旨がクラブ名の由来です

【代表者氏名】：田中 宏一

1. 活動時間：基本日曜日の2時間程度  
\*他の曜日は掛け持ちの方が多数です
2. 活動場所：上尾市公式施設  
上平公園、平塚公園、市民体育館など  
\*施設が混雑で確保できない場合は、桶川市、伊那地区、川越地区へ遠征もあります
3. メンバー人数：通常は15名程度  
\*大会エントリーは5名程度
4. 年齢層、性別：40代から70代まで幅広く、性別も男女一緒のジェンダーレスです

5. 活動内容：「皆で和気藹々愉しむ」がコンセプトです。最初にボールに慣れる身体を動かす練習はしますが、基本は試合を通して愉しもうという方針です。4ゲームオールのルールなので2時間の中で3～4試合を愉しめるかと思います
6. 創設：創設は2010年頃より数人でプレイしていました。2022年より個人の意思尊重で数人のメンバーが市民大会へ参加するようになりました

## T-LIFE

### 【クラブ名称の由来】

テニススクールで出会い仲良くなったメンバーで作ったサークルです。

T-LIFEのTは、私たちの共通の趣味であるtennisのTです。ほかに、試合に挑戦してみようというtryのT、おしゃべり好きな私たちを表すtalkのT。そしてとにかくtanosim(楽しむ)のT。

メンバーの色んなTを大切に、無理なく自由にテニスをしようという意味を込めました。

結成して3年目のサークルです。

【代表者氏名】：宮本 牧子

普段はテニススクールや様々なサークル等で練習しており、シングルス・ダブルスの試合にエントリーして、テニスを楽しんでいるメンバーもいます。

ですが、私たちの一番の目標は、チーム対抗戦にエントリーして、みんなでテニスをするこ

とです。

普段なかなか会えないメンバーも、この日だけは集まって、格拉格拉笑いながら思いっきりテニスをします。試合の後の美味しいお酒も最高です！

ゆるやかに、しなやかに、テニスを生活に取り入れて楽しんでいます。



## TenniRuns

### 【クラブ名称の由来】

テニス+ラン好きの融合体です

【代表者氏名】：安達 健一

はじめまして、TenniRunsです。

まず、初めに、協会設立50周年おめでとうございます。記念となる節目に寄稿できて良かったです。

早速ですが、チームの紹介をします。

TenniRunsの活動帯は、主に土日の早朝でテニス練習をおこない、午後は、家事など家族への貢献度を高めたり、ランニングなど他に打ち込める趣味の時間に費やせるようにしています。

メンバーの年齢層は、20代～50代で構成される、割と幅広い団体です。クラブ登録はまだ日が浅いですが、活動を始めた時期はけっこう古く、通算15年程度の活動歴があり、テニスの試合やテニスオフをきっかけに交流を深め、一緒に定期的に練習するようになってきた団体です。

練習場所は、よく桶川市舎人スポーツパーク

を利用して練習をしています。

練習内容は、シングルスがメインとなっています。そのためか規模は少数な団体になっているのかなと思います。

現在は、クラブ対抗戦やダブルスの試合にも積極的にトライしたく、そのためメンバーを増やしたいと思っており、絶賛参加者募集中です。

もちろん男女問わずですので、シングルス大好きな女子も大募集です。

(そういえば左利きはいないのですが、両打ちはいますね。)

また、上尾市や埼玉県のとテニス大会へ参加はもちろんのこと、チーム名の通り、ランにも積極的で、毎年恒例となった上尾シティーマラソンや上尾市駅伝大会への参加もしています！

ランイベントや市内ランで見かけたら、お気軽にお声がけください。

## one's Powers (パワーズ)

**【代表者氏名】**：上條 正

仕事（デスクワーク）→ 運動不足 → 体重増加により40歳で始めたテニス。

もともと球技が好きだったこともあり、駅近のテニススクールに通い始める。

だんだんハマり込み、サークルを作り、市民大会、草大会、イベントなどに参加。

15年続いたサークルも解散し、知り合いのサークルに参加。

今年より以前の「POWERS」を継承して一人で「one's Powers」を協会登録。

活動については、いままでお世話になっている仲間と引き続き練習に参加。

## スターズ

**【代表者氏名】**：渡辺 政勝

発足は2017年、今年で7年になります。

休日や平日の空いている時間に集まり、テニスを楽しんでいたメンバーでスターズを立ち上げました。

上尾テニス協会に登録することで大会に出場し、面識のない方との試合交流や勝つこと、緊張感のあるプレーをすることなどの目標を持って、日頃の練習内容を充実させようと12名からスタートさせました。

現在では、男子15名、女子7名で合計22名となり、上尾や桶川の大会を中心に 試合に参加しています。

テニスの練習は、休日の13～15時を中心に活動していますが、各メンバー平日の決まった曜日の定例会や休日の午前中など、他のテニス仲間もある中、このスターズ練習会に集まっています。

各所のレッスンを受けている向上心のある者、試合で勝ち上がる強者、シングルス戦に出場する者などがおり、彼らの心のこもったソフトな指導を受け、試合では 1回戦突破を目指し、楽しみの試合参加がチームのモットーです。

メンバーの年齢は40代か70代までと幅広く、テニスを離ればマラソン、ゴルフ、登山

など同年代と比べると活動的な人たちです。

スポーツで汗をかいた後のお酒好きが多いですが、過剰にならないよう健康に気を付け、暑気払いと忘年会は定例となっています。

試合では、当初はあっさり負けることが多かったのですが、最近では緊張感にも慣れ、接戦での勝ち負けにこだわる試合が皆出来るようになりました。また、シニアクラスに参加できる者も増えてきており、シニアダブルスやシニアミックスなど、年間の大会出場の数も増えてきています。



## 桜梅桃李

### 【クラブ名称の由来】

「桜梅桃李」とは、サクラ・ウメ・モモ・スモモを指しています。それぞれがオンリーワンの花を咲かせるように、他人と比べる事なく、自分自身を磨く事が大切だという意味の言葉です。テニスのスタイルも人それぞれ…皆それぞれ個性的な花を咲かせていきたいです。

### 【代表者氏名】：橋詰 友美

さて、桜梅桃李ですが、今年から新規に登録させて頂いた女性9名のサークルです。主に土日祝日に、上平公園や近隣の丸山スポーツ広場で、ダブルスを中心に活動しています。

テニスだけでなく、美味しい物を食べて時間を忘れて語りあったり、時には他にもたくさんの仲間とテニス合宿で子供のように大はしゃぎしたりしています。

テニスを通じて、一生付き合っていける仲間ができたのは、私の宝だと思っています。もちろん、テニスの上達することが一番の目標ではありますが（笑）



初島にて、テニス合宿

2024年度は上記に紹介した団体の他次の各クラブが登録されています

Fテニス

テニスランド上尾

Drop Shot

SEVEN colorS

上尾56テニスクラブ

エフォーツ

TC90

プリンステニスクラブプレミアム

グッドラック

チーム・ピター

JUTC

上尾マーベ会

(株)タダノ

LTC

オリーブ

ホップステップ

チームゴエ

コスモス

moon tc

テニテニ

clover

毎日が庭球日

Mistral

GOC

break back

Angle

Funny Z

ルネット上尾

GGテニスクラブ

さくらテニスクラブ

よつ葉のclover

# 上尾市テニス協会規約

## 第 1 章 総 則

- 第 1 条 (名 称)  
本協会は上尾市テニス協会と称する。
- 第 2 条 (事務局)  
上尾市テニス協会(以下協会)の事務局を上尾市内に置く。

## 第 2 章 目的及び事業

- 第 3 条 (目 的)  
協会は上尾市内におけるテニスを振興し、健全、明朗な市民生活の維持発展に寄与する事を目的とする。
- 第 4 条 (事 業)  
協会は第3条の目的を達成する為に次の事業を行う。
- 1 市内におけるテニスの普及、発展に関する諸方策の樹立及び実施
  - 2 市内におけるテニス大会の実施
  - 3 市内のテニス団体の統括、及び指導
  - 4 市内のテニス団体の統括組織として、市外諸団体等との交流
  - 5 その他協会の目的達成に必要な事業

## 第 3 章 会 員

- 第 5 条 1 (資 格)  
協会の会員は上尾市内に所在するテニスに関する団体及び在住、在勤の者で協会に登録の有るものとする。
- 2 (登 録)  
第5条一1に該当する者は所定の書式により、協会会長宛に登録の申請を行い、協会理事会の承認により登録を行う。
- 3 (脱 退)  
協会を脱退する者は書面において理由を協会会長に提出し、協会理事会の承認により脱退する。

## 第 4 章 役 員

- 第 6 条 協会に次の役員をおく。  
会長(1名)、副会長(2名)、理事長(1名)、理事(若干名)、会計(1名)、会計監査役(2名)。
- 第 7 条 1 会長は総会の決議により推挙する。  
2 副会長は総会の決議によるもの1名、会長の推薦する者1名とする。  
3 理事長は理事の互選により会長が委嘱する。  
4 理事は総会の推薦による者と、会長が推薦する者を会長が委嘱する。  
5 会計は協会の推薦する者1名を会長が委嘱する。  
6 会計監査役は協会の推薦する者2名を会長が委嘱する。
- 第 8 条 (役員の仕事)  
1 会長は協会を代表し、また協会を統理する。  
2 副会長は会長を補佐し、会長の代行を行う事が出来る。  
3 理事長は会長の命を受け理事会の決するところにより協会の運営にあたり、又緊急を要する事項で理事会に諮る時間の無い場合は、単独で理事会決定とする事が出来る。ただしこの場合は、事後理事会へ報告承認を受けなければならない。  
4 理事は理事会を組織し協会の運営にあたる。



- 5 会計は協会運営に関わる金銭的収支を管理し、帳簿を作成する。  
 6 会計監査役は協会の会計を監査し、理事会に意見を述べる。
- 第 9 条 (役員任期)  
 1 役員任期は2年とする。ただし再任をすることが出来る。  
 2 任期中の役員交替は原則的に認めない。但し特別の事情のある場合は、理事会の決定に依り会長が認める。この場合の任期は前任者の残任期間とする。
- 第 10 条 協会に理事会の決定により、会長が委嘱する顧問、参与、及び名誉会長をおく事が出来る。

## 第 5 章 会 議

- 第 11 条 会議は総会及び理事会の2種類とする。
- 第 12 条 1 総会は会員をもって組織し毎年1回開催する。ただし必要に応じて臨時に開く事が出来る  
 2 理事会は必要に応じ随時開催する。
- 第 13 条 (召集・議長)  
 会議は長が召集しその議長となる。
- 第 14 条 (会議の欠席)  
 やむを得ない事由の為に会議に出席出来ぬ場合は議長に連絡通知する。
- 第 15 条 (表 決)  
 1 表決は出席者の過半数によって決定される。  
 2 議長は、緊急を要する事情については、電話等により表決を求める事により会議に替える事が出来る。但しこの場合は書面による記録を残す事。
- 第 16 条 会議の議事録は理事が作成し、会員の要求ある場合は随時閲覧出来る。
- 第 17 条 総会の審議事項  
 1 事業計画  
 2 予算及び決算  
 3 規約の変更  
 4 会長の推薦  
 5 理事の推薦  
 6 会長の附議する事項
- 第 18 条 理事会の審議事項  
 1 総会に附議すべき事項  
 2 協会の会務執行に関する事項  
 3 会長の附議する事項

## 第 5 章 会 計

- 第 19 条 協会の経費は次の収入により支弁する。  
 1 助成金  
 2 登録料  
 3 会費 (大会等参加費)  
 4 寄付金等  
 5 その他雑収入
- 第 20 条 登録料は毎年5月末までに次表により会計へ納入する。

登録料 = 基本料 + 付加料

基本料 2,000円

付加料

	団体の人数	付加料
1	～ 20名	1,000円
2	1 ～ 30名	2,000円

31 ~ 50名	3,000円
51 ~ 100名	5,000円
101 ~	8,000円

第 21 条 協会の会計は毎年2月1日から始まり翌年1月31日に終わる。

第 22 条 功労と慶弔

- 1) 協会に20年以上功労があった者に対し、理事会の決定により協会から感謝状と功労金を贈呈する（額は3万円相当の商品券）
- 2) 協会関係者に不幸があった場合に弔意を贈呈する。対象、内容は会長に一任し、結果を理事会に報告する。

附 則

- 1 この規約は昭和52年4月1日より実施する。
- 2 この規約は平成5年4月1日より改定実施する。
- 3 会計細則

① 事務局費	80,000円/年		
② ドロー作成手当、等	エントリー数	~49	5,000円/回
		50~99	7,500円/回
		100~149	10,000円/回
		150~199	12,500円/回
		200~249	15,000円/回
		250以上	17,500円/回
県選考会、春季大会、クラブ対抗、年齢別シングルス大会、ミックス大会 秋季大会、シニア大会、新進大会、シニアミックス大会、名簿登録管理			
③大会役員手当（都市対抗派遣選手、役員、手伝い・応援を含むに準用する）			
	8~15時；4,000円/人、	8~17時；6,000円/人	8~19時；7,000円/人
	協力クラブ（8~15時）；3,000円/人、		
	ジュニア教室のコーチ料	14,000円/日/人	
	ジュニア教室中止時のキャンセル料	7,000円/日/人	
④市体協行事派遣役員手当	2,000円/日/人		
体育祭行進手当	1,000円/日/人		
⑤理事会手当（出席者交通費として）	1,000円/回/人		

- 4 第22条の追加と第21条の会計期間の変更、附則3項の加筆を実施平成26年3月2日より改定実施する。
- 5 附則3-3) 大会役員手当てを改定し平成30年3月3日より実施する。
- 6 附則3-3) 大会役員手当ての一部を改定し令和4年3月4日より実施する。

# 役員名簿

## 2024～2025年度役員名簿

名誉会長	前 島	暁	ペアーズ
会 長	丸	行 弘	ラブオール
理 事	杉 江	正 則	ペアーズ
理 事	須 賀	富 士 男	AT
理 事	大 木	博 子	上尾テニス
理 事	岡 田	早 苗	上尾テニス
理 事	寺 元	学	上尾セントラル
理 事	赤 井	昭 二	上尾セントラル
理 事	田 口	圭	上尾セントラル
理 事	桜 井	智 和 子	上尾グリーン
理 事	平 田	由 香	上尾グリーン
理 事	新	修 典	UDトラックス
理 事	佐 藤	誠	テニスランド上尾
理 事	坂 井	美 代	RISE
理 事	中 島	悠	テニスラウンジ上尾
理 事	鈴 木	健 一	DropShot
理 事	飯 田	香 織	TBJ
理 事	菅 野	晃 弘	一発屋
理 事	齋 藤	哲 夫	Club ACTAS
理 事	大 吉	哲 郎	アーバン
理 事	和 田	賀 美	clover
会 計	上 條	正	パワーズ
会計監査	興 石	芳 江	上尾テニス
顧 問	清 水	康 彦	上尾テニス
顧 問	浅 井	忠 之	ペアーズ

## 編 集 後 記

ウインブルドンテニスが今年147年を迎えるとの事ですが、上尾市のテニス活動も約100年遅れて、1974年にスタートし脈々と継続していることは大変素晴らしいことだと思います。

クラブ紹介の中で「テニスが大好き」だと多くのクラブが強く表現しています。この「大好き」が継続の原動力だと思います。これからも50周年を通過点として発展して行くことでしょう。

上尾市テニス協会創立50周年記念 (since1974)

あ ゆ み

発 行 日	令和6年6月16日
発 行	上尾市テニス協会
編 集 委 員	丸 行弘 前島 暁 杉江正則 大吉哲郎
印 刷	㈱ヒラノ 上尾市原市1425-110

50

50  あゆみ  
since 1974